

## たかちほの杜プロジェクト基本構想(案) よくある質問(Q&A)

---

Q1 「たかちほの杜プロジェクト」とは何ですか。

A

「たかちほの杜プロジェクト」は、将来の高千穂町のまちづくりを見据え、

- バスセンター周辺に整備を検討している「まちなか複合拠点施設」
- 高速道路インターチェンジ周辺(総合公園北側)に整備を検討している「新たな道の駅」

を、役割分担・連携しながら整備していくことで、地域課題の解決や賑わいづくり、防災機能の強化等を目指すプロジェクトです。

人口減少や公共施設の老朽化、観光需要への対応、高速道路開通への備えなど、将来の高千穂町を取り巻く課題に対応するため、検討を進めています。

---

Q2 なぜ今、このような構想を検討する必要があるのですか。

A

現在、高千穂町では、

- 公共施設の老朽化
- 人口減少・少子高齢化
- 観光客増加による渋滞
- 防災機能の強化
- 地域経済の活性化
- 九州中央自動車道の整備進展

など、将来のまちづくりに大きく関わる課題や環境変化が進んでいます。

特に、高速道路開通後は、人や車の流れが大きく変化することが想定されるため、その効果を町全体へ波及させるための受け皿づくりが必要と考えています。

---

Q3 基本構想が決まると、すぐに工事が始まるのですか。

A

いいえ。今回の「基本構想(案)」は、将来の方向性や考え方を整理した段階のものです。

今後、

- 基本計画
- 概略設計
- 財源確保
- 関係機関協議
- 用地調査
- 詳細設計
- 住民説明・意見聴取

など、様々な検討や調整を段階的に進める必要があります。そのため、基本構想を策定したからといって、すぐに工事に着手するものではありません。

---

#### Q4 なぜ「新たな道の駅」が必要なのですか。

A

現在の道の駅「高千穂」は、整備から約 20 年が経過しており、

- 駐車場不足
- 施設規模不足
- 混雑
- 老朽化

などの課題があります。

また、今後の高速道路開通による交通量増加を見据えた場合、現在の施設規模では十分な対応が難しい状況です。

そのため、

- 高速道路利用者への対応
- 観光客の受け入れ
- 地域産品販売
- 防災機能
- 地域経済活性化

などを総合的に担う新たな拠点として検討しています。

---

#### Q5 現在の道の駅「高千穂」はどのようなのですか。

A

現在の道の駅「高千穂」については、新たな道の駅へ機能移転を想定していますが、その後の活用方法については、今後検討していく予定です。現時点で具体的な内容は決定していません。

---

#### Q6 なぜ道の駅を総合公園北側で検討しているのですか。

A

新たな道の駅は、

- 高速道路利用者が利用しやすいこと
- 国道 325 号利用者も利用できること
- 高速道路との接続性
- 渋滞対策
- 防災拠点機能

などを総合的に考慮し、総合公園北側を基本構想(案)で位置づけています。

特に、高速道路インターチェンジとのアクセス性や、大規模災害時の広域防災拠点としての

活用可能性を重視しています。

---

**Q7 総合公園の施設はなくなるのですか。**

**A**

影響を受ける施設については、代替機能や移転調整を行いながら、段階的に検討を進める予定です。現時点で、すぐに利用できなくなるものではありません。

また、スポーツ機能や広場機能についても、必要な代替機能の確保を前提に検討を進めます。

---

**Q8 まちなか複合拠点施設とはどのような施設ですか。**

**A**

まちなか複合拠点施設は、現在のバスセンター周辺を中心に、

- 図書館
- 子育て支援
- 福祉相談
- 多目的スペース
- カフェ
- 地域交通拠点

など、暮らしに必要な機能を集約し、多世代が交流できる施設として検討しています。

また、公共施設の老朽化への対応や、まちなかの賑わいづくりも目的としています。

---

**Q9 なぜバスセンター周辺で検討しているのですか。**

**A**

バスセンター周辺は、かつて高千穂町の交通・交流の中心であり、現在も公共交通の結節点となっています。

また、

- まちなか回遊
- 公共交通利用
- 既存商店街との連携
- 観光協会移転との連携

などを考慮し、まちなかの活性化につながる場所として検討しています。

---

**Q10 中学校建設より、こちらを優先するのですか。**

**A**

高千穂町では、中学校移転建設事業を含め、様々な重要事業を進めています。「たかちほの杜プロジェクト」についても、他主要事業との調整を図りながら、財政状況等も踏まえて段階的に検討を進める予定です。現時点で、特定事業のみを優先するという考えではありません。

---

Q11 どのくらいの事業費がかかるのですか。

A

現時点では、施設規模や配置、事業手法等が確定していないため、具体的な事業費は決定していません。

今後の基本計画・概略設計の中で、

- 施設規模
- 整備内容
- 財源
- 国・県補助制度
- 民間活力導入

などを検討しながら、事業費を精査していく予定です。

---

Q12 住民の意見はどのように反映されますか。

A

今回実施するパブリックコメントをはじめ、住民説明会や意見聴取等を継続しながら検討を進めていきます。

いただいたご意見については、今後の検討の参考とし、内容を整理したうえで町の考え方とあわせて公表する予定です。

---

Q13 なぜ「たかちほの杜」という名前なのですか。

A

「杜(もり)」という言葉には、高千穂の自然・神話・文化を象徴する意味が込められています。また、人と人とのつながりの中で地域が育っていくという想いも込められており、単なる施設整備ではなく、「未来の高千穂町を共に育てていく拠点」として名称を設定しています。

---

Q14 今後はどのようなスケジュールで進むのですか。

A

今後は、

1. 基本構想の取りまとめ
2. 基本計画・概略設計
3. 関係機関協議・財源確保
4. 用地調査・詳細設計
5. 工事・造成等の準備
6. 工事着手

という流れで、段階的に進める予定です。なお、今後の検討状況や関係機関協議等により、ス

スケジュールは変更となる場合があります。

---

**Q15** 今後も説明会はありますか。

**A**

はい。今後も、住民説明会や意見聴取等を実施しながら、町民の皆様に情報共有を行い、丁寧に検討を進めていく予定です。

多くの皆様からのご意見をいただきながら、将来の高千穂町のまちづくりを進めていきたいと考えています。